

令和3年度 活動実績

団体名

NPO法人遍路とおもてなしのネットワーク

1. 「遍路大使任命書」・「自転車遍路大使任命書」の授与

前山おへんろ交流サロンに委託して歩き遍路には「遍路大使任命書」を自転車遍路には「自転車遍路大使任命書」を授与している。2021年4月1日～2022年3月31日の授与数は「遍路大使任命書」867件、「自転車遍路大使任命書」95件である。（本事業はNPO法人ループ88四国などとの共同事業、2022年1月から逆打ち遍路には遍路の里で授与している。）

2. おもてなしステーションの委託

おもてなしステーションに掲示するポスターに各ステーションが提供できるサービス（トイレ・道案内・休憩・ドリンク・Wi-Fi・携帯充電）を一目で分かるようにアイコンで表示し、英語表記も記載。現在のおもてなしステーションの登録数は49件。



3. 親子お遍路ウォーキング開催

第1回10月23日、第2回11月27日、第3回12月11日の3回実施。

第1回宇多津駅～国分寺、第2回長尾寺～大窪寺、第3回琴電屋島駅～志度寺を歩いた。最終回には大山さぬき市長から皆勤賞を授与。

参加人数を50名に制限し、他参加者との距離を2mあける、近距離での発声は避ける、ウォーキング中以外はマスク着用など感染予防対策をした上で開催した。心温まるお接待も体験し、親子で楽しく歩いた。



4. 遍路みちしるべ石柱の設置(11月18日実施)

屋島東遍路道降り口に1基設置。高松商工会議所女性会の寄贈、土地提供は屋島寺。屋島東遍路道の降り口が分かりづらいのを解消できる。



5. NPO活動報告と講演会(6月13日実施)

情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ内のBBスクエアにてシンポジウムを開催。香川県文化振興課松本氏が「四国遍路の世界遺産登録に向けた取り組みと地域コミュニティ」と題して、地域コミュニティに求められることについて講演。香川大学創造工学部の米谷雄輔講師が地理情報のWeb上での発信について解説。最後に、NPOの活動報告を行なった。会員にはZoomでの配信もおこなった。会場出席は30名、遠隔参加は8名。



6. 外国人の遍路体験の案内とお接待(11月20日実施、春季は中止)

香川県国際課主催の外国人のための遍路体験で、長尾寺～前山お遍路交流サロン～大窪寺を案内。前山お遍路交流サロンでお接待も行った。スタッフを含めて24名の参加があった。



7. 第7回一日一斉「おもてなし遍路道ウォーク」

今回初めて遍路道を一巡して切れ目無く点検することができた。県別の参加状況は

徳島県	【チーム数】 43チーム 【人数】 189名
高知県	【チーム数】 52チーム 【人数】 297名
愛媛県	【チーム数】 67チーム 【人数】 317名
香川県	【チーム数】 87チーム 【人数】 335名
総合計	【チーム数】 249チーム 【人数】 1,138名

佐伯勇人四国遍路世界遺産登録推進協議会会長も四国経済連合会チームの一員として参加。「気づき報告」のまとめは別途報告。

